

平成 18 年 12 月 6 日

住友商事ケミカル株式会社 御中
株式会社鯉コーポレーション 御中

北里大学獣医畜産学部
獣医学科人獣共通感染症学研究室
教授 中村 政幸
青森県十和田市東二十三番町 35-1

Tell : 0176-23-4371

Fax : 0176-23-8703



試験検査報告書

平成 18 年 4 月 20 日にご依頼を受けました供試品に対するウイルス力価低下試験の結果、下記の通りであることを証明致します。

記

1. 供試品 : ペルオキシチタン酸水溶液 TPX-HL(S-TYPE) (プラスチックシャーレに塗布)
2. 試験目的 : ペルオキシチタン酸水溶液の鳥ウイルスに対する抗ウイルス効果の研究
3. 試験方法 : 供試品が塗布されたシャーレにウイルス液を滴下し、蓋を除いた状態で、20W 蛍光灯を 10cm の距離から照射した。経時的にシャーレからウイルス液を採り、ウイルス力価を 50% 培養細胞感染量 (TCID₅₀/ml) で測定した。
4. 使用ウイルス : 高病原性トリインフルエンザウイルス (H7N1 弱毒タイプ)
5. 使用細胞 : MDCK 細胞
6. 試験結果 :

供試品	開始時	24 時間後	48 時間後
TPX-HL(S-TYPE)	6.50	4.50	1.50
対照	6.50	5.50	3.00

単位 : log₁₀TCID₅₀/ml

開始時に 10 の 6.5 乗 (3,000,000 個) のウイルスが、供試品を塗布したシャーレでは、48 時間後に TPX-HL(S-TYPE) で 50 個以下に減少した。すなわち、力価が 50,000 倍低下した。

以上